

# ANNUAL REPORT

## 目次

巻頭言 ..... 1

## I 国際交流センターの活動

1. 教育活動 ..... 2

- (1) FD 研修会
- (2) 集中講座
- (3) 日本語研修コース・日本語集中コース
- (4) 課外補講：日本語

2. 留学生相談・支援 ..... 4

- (1) 留学生相談とその体制について
- (2) 学業相談会の実施
- (3) 留学生向け安全講習会の実施

3. 留学生交流 ..... 6

- (1) 国際交流デー
- (2) センター主催行事
- (3) 地域交流
- (4) マレーシア同窓会

4. 国外各機関への訪問  
および留学フェアへの参加 ..... 8

## II 資料

1. 在学留学生状況 ..... 9

- (1) 外国人留学生受入状況
- (2) 外国人留学生宿舍状況
- (3) 平成 22 年度奨学金受給状況

2. 国際交流センターについて ..... 10

- (1) CALL 教室および自習室利用状況について
- (2) 平成 22 年度に導入した主な機器及び教材

## 巻頭言

CIR (国際交流センター) Annual Report 発刊にあたり  
センター長 浜島昭二

平成 22 年度実施の学内再編により語学センターと留学生センターが統合され、国際交流センター (CIR) が設置されました。当センターは工学教育国際協力研究センター (ICCEED) とともに国際基盤機構を形成し、国際戦略本部のもとでその実行組織として活動してきました。この経緯を踏まえ、従来の 2 センターの機能を果たしながら、個々の活動を学生交流に係る本学国際戦略の意図と目的に明確に関連づけ、そのことによってそれら個別の活動が一個の有機体としての自己理解に対応するものに行わなければならないと考えています。

発足 1 年目の昨年は、従来の 2 センターの活動をより少ない人員で並列的に実行してきたというのが正直なところで、私たちは何物なのかというセンターの自己理解を模索する期間であったと言えます。その中でもセンタースタッフが一丸となり、学内諸組織・教職員と連携して新たな試みにも取り組んできました。

この Annual Report は、これまでの「留学生センター年報」と語学センターがおこなってきた自己評価を内容的に引き継いでその活動を記録し、まず学内で当センターに対する理解を深めていただくとともに学外諸大学・機関との連携・協力のベースとなる情報を提供しようとするものです。

世界から若者を受け入れて優れたエンジニアを育て、我が国と世界の産業の発展に寄与し、以て世界の平和に貢献するとともに彼らの人生設計をサポートすること。さらには、グローバルな視野をもち、世界で通用するエンジニアを育成する。これが本学における教育の国際化ですが、これを推進する上で国際交流センターの業務・活動はきわめて重要な役割を担っています。

その意味で、センターの活動が今後さらに充実し質的に向上していく状況は、この Annual Report にも反映していくものだと考えています。私たちの任務と活動に対する各位のより一層のご理解と建設的なご批判・ご意見を切にお願いし、発刊の言葉といたします。

# I 国際交流センターの活動

## 1. 教育活動

### (1) FD 研修会

平成22年11月30日、宮崎大学教育・学生支援センター准教授武方壮一氏を講師にお迎えして、「語彙力・英文法力の向上をめざして——目標設定・学習計画・学習支援体制の構築——」と題した講演を行った。宮崎大学では本センターでも導入しているアルク教育社の e-learning 教材 NetAcademy2 を授業で活用し、また学習アドバイザー制を導入するなど、積極的な英語教育改革を行っており、その実施責任者である武方氏に直接お話を伺うことは本学の英語教育の改善に資するものであった。

宮崎大学は教育文化学部、医学部、工学部、農学部の4学部と5研究科からなる総合大学である。2010（H22）年度より共通教育プログラムを導入し、全学部の1、2年次英語授業を共通の内容に改革した。そのために共通教育部と専門学部が連携した全学的な実施体制を確立し、目標設定と学習到達度の測定など定期的な点検・評価を行っている。

1、2年次の英語科目は「英語」、「コミュニケーション英語」の2科目。そのうち「英語」がCALL教室での e-learning を利用した授業で、「コミュニケーション英語」は従来の対面型授業である。e-learning による「英語」は週2回（うち1回は自学自習）で、半期で1単位が与えられる。利用する e-learning 教材は NetAcademy2 の PowerWords コースと英文法コースで、それぞれ学期ごとの到達目標が設定され、学生はその目標に到達することが求められる。

この授業を実施するにあたって、宮崎大学では教員の他に数名の学習アドバイザーを常駐させた。学習アドバイザーはCALL教室での「英語」授業の支援と学生の自学自習の支援、さらに英語学習全般に関するカウンセリングを担当する。また、NetAcademy2 の運用・管理、学習履歴の管理等を担当する専門の技術担当者もおり、授業運営を支えている。

NetAcademy2 を利用した授業は学習到達目標が明確となる利点があるが、学習支援に工夫が必要であり、宮崎大学の事例は参考となる点が多い。

### (2) 集中講座

期 間	内 容	講 師
8月26日～8月28日	TOEIC 対策	角 恵里（英語講師 / TOEIC 講師）
9月27日～9月29日	ポルトガル語 ～言語と文化～	稲垣 和栄（NPO ABT 豊橋ブラジル協会）
	英会話	タラ・オドネル（愛知大学非常勤講師）
10月4日～10月5日	英語プレゼンテーション研修	ブレット・ワトソン （ゼンケンキャリアセンター講師）
3月8日～3月10日	初中級者向け TOEIC 対策	高見 香代子（英語講師 / TOEIC 講師）
3月14日～3月16日	中級者向け TOEIC 対策	高見 香代子（英語講師 / TOEIC 講師）

センターでは、毎年1講座12時間～15時間程度の集中講座を2回～3回開催している。この講座開始当初は、普段接する機会の少ない外国語に親んでもらうことを目的とした。しかし、平成4年から一つを、授業で開講している外国語の強化目的で開講することとした。

今年度は、昨年度好評を得た、上級者向けの英語プレゼンテーション研修を秋に1回開講し、また、開講希望の多い TOEIC 対策講座を夏に1回、レベル別に分けて春に2回開講した。もう二つの講座は従来の方針を継承し、英会話とポルトガル語を開催した。

### (3) 日本語研修コース・日本語集中コース

#### 日本語研修コース

2010年度4月期及び10月期は国費大使館推薦の研究留學生がいなかったため開講されなかった。

#### 日本語集中コース

**コース概要** 学内からの要望に応じ、日本語研修コースを開講しない場合にこれに準じた簡易的なコースとして開講する。なお本コースは試行的に開講したものである。

**開講期間等** 2010年度10月期<第1期> 15週間  
2011年2月21日 スピーチ発表会

**コーディネーター** 氏平明・村松由起子

**受講者** Nova Ulhasanah, Dicky Fatrias, Isnibar, Lois Chemutai Leleito, Narpendinga Wisjna Ariwardani, Ismat Ara, Pawel Niechoda, Leonardo Gutierrez Vilchis (インドネシア4名、ケニア1名、バングラディシュ1名、ポーランド1名、メキシコ1名 計8名)

#### 時間割

	月 Mon.	火 Tue.	水 Wed.	木 Thu.	金 Fri.
1 8:50-10:20					
2 10:30-12:00	日本語 (氏平)	漢字 (林)	日本語 (氏平)	コンピュータ (桂田)	日本語 (村松)
3 13:00-14:30	日本語 (氏平)	日本語 (氏平)	総合日本語 (氏平・村松・吉村)	日本語 (林)	日本語 (吉村)
4 14:45-15:55					文字(補講) (石川)

### (4) 課外補講：日本語

**開講期間** 2010年4月～7月(前期)、10月～1月(後期)

**コーディネーター** 村松由起子

#### クラス編成及び受講者数

##### 前期

クラス名	回数/週(計)	受講者数
にほんご	4(48h)	38

##### 後期

クラス名	回数/週(計)	受講者数
にほんごA 初歩	2(24h)	43
にほんごB 会話	1(12h)	31
にほんごC 文字	1(12h)	47

#### 時間割

##### 前期

	水 Wed.	金 Fri.
13:45 - 14:45	にほんご (鈴木)	にほんご (石川)
14:45 - 15:55	にほんご (鈴木)	にほんご (石川)

##### 後期

	水 Wed.	金 Fri.
13:30 - 14:30	にほんごB (会話)(鈴木)	13:45 - 14:45 にほんごA (初歩)(石川)
14:40 - 15:40	にほんごA (初歩)(鈴木)	14:45 - 15:55 にほんごC (文字)(石川)

## 2. 留学生相談・支援

### (1) 留学生相談とその体制について

本学には、全学生数の約一割に当たる 200 名を超える留学生が在籍し、留学生の受入れに積極的な大学として全国的にもよく知られている。日本人、外国人の別に関わりなく、学生の指導は大変な業務であるが、外国人では文化の違い（考え方の違い）やことばの問題があり、指導はさらに大変な苦勞を伴うものである。また、産業・経済の急激なグローバル化に伴う世界的人材獲得競争の激化は大学教育にもおよび、優秀な留学生を獲得することは我が国にとって死活問題になっている。なかんずく、産業界に指導的技術者を送り出すことを使命とする本学は、日本への留学を希望する海外の学生にとって魅力ある大学にならなければならない。そのためには、専門教育のみならず就学\*・生活全般にわたる支援体制を整え、学生が本学への留学を正しい選択であったと思えるようにしなければならない。

この目的に向かって本学の留学生指導をより一層充実させるため、平成 22 年 4 月の学内再編により語学センターと留学生センターを統合して国際交流センターが組織された。このセンターは、生活指導も含めた留学生への支援を重要な柱とし、専門系教員の留学生に対する教育・研究指導を側面から援助・サポートしている。この活動を推進する取組の一つとして、全学の留学生を対象とした留学生相談窓口が設置された。

就学\*：修学全般、研究、就職、進学などを含む。

### 留学生相談窓口の概要：

留学生のための相談窓口として、次のものがある。

#### 1. 留学生相談担当教員による相談窓口

留学生相談室では、一般基礎（教養）科目教員 1 名（林 孝彦准教授）、専門科目教員 2 名（リム パンボイ特任准教授、桂田浩一講師）、計 3 名の相談担当教員が常駐し、相談を受け付けている。留学生が生活全般で出会う様々な質問や相談に対応するほか、就学全般での履修相談、一般教養科目、語学科目、専門科目の勉強、就職相談などの質問受付など、大学での就学全般の相談を受け付けている。また、日本語、英語の他、マレー語、インドネシア語、中国語で対応できる相談教員が 1 名（リム パンボイ）いる。

#### 2. 国際交流課交流支援係による相談窓口

ビザ、奨学金、宿舍、手続き、書類の提出などに関する就学上の相談を受け付けている。

#### 3. 国際交流会館における生活相談

生活一般に関する相談。2 名のチューターが国際交流会館に居住し、そこに住む留学生の相談を受け付けている。

### 留学生相談窓口の場所：

国際交流センター 2 F	林 孝彦准教授（一般教養科目教員；男性）	内線：6 8 6 6
B 棟 - 3 0 9	リム パンボイ特任准教授（専門科目教員；女性）	内線：6 9 4 2
F 棟 - 4 0 8	桂田浩一講師（専門科目教員；男性）	内線：6 8 8 4
国際交流課交流支援係	B 棟 1 階 窓口⑨番	内線：6 5 4 6
国際交流会館 飛永和真	（大学院生 博士前期課程 2 年次；男性）	
国際交流会館 牧野智隆	（大学院生 博士前期課程 2 年次；男性）	

### 外国人留学生へのサポート体制：

国際交流センターは、留学生が安心して勉学に励み、充実した日本生活が送れるよう、以下の活動を行っている。

1. 各学期はじめの履修相談会の開催
2. 各月における学業相談会の開催
3. 年 3 回の国際交流デーの開催

## (2) 学業相談会の実施

本年度の1月から学部留学生を対象とする学業相談会を実施している。学業相談会では学生の単位取得状況に基づいてアドバイスを行うと共に、一部の科目についてはパワーチューターを配置して単位取得を支援している。本年度の学業相談会への出席者数、およびパワーチューターの配置科目数は下表のとおりである。

	日時	参加者	パワーチューターの配置
第1回	1/11 18:15-20:25 1/12 18:15-21:30	1年 2名 / 4名 2年 3名 / 5名 3年 17名 / 26名 4年 1名 / 12名	対象留学生 2名 パワーチューター 2名 延べ科目数 2科目
第2回	2/9 18:00-21:00 2/10 18:00-20:15	1年 2名 / 4名 2年 2名 / 5名 3年 14名 / 26名 4年 1名 / 12名	対象留学生 6名 パワーチューター 6名 延べ科目数 9科目

## (3) 留学生向け安全講習会の実施

国際交流センターでは、11月18日に豊橋市文化市民部安全生活課の協力を得て留学生向け安全講習会を実施し、渡日間もない約60名の留学生が参加した。

豊橋技術科学大学の留学生の多くは通学などの移動手段に自転車を利用しており、日本の交通ルールへの理解が不十分であったことから、事故に巻き込まれるケースもある。

講習会では、講師による夜間外出の際の注意点、自転車の安全な乗り方の指導、事故にあった場合の対処方法の説明があった後、日本の交通ルールについて英語版ビデオを鑑賞した。参加した留学生からは日本の交通ルールが分からなかったが、講習会を聞いて理解できた。事故に巻き込まれないよう注意したいとの感想が聞かれた。



### 3. 留学生交流

#### (1) 国際交流デー (第1回「世界のお茶会」) ～楽しい国際交流しませんか?～

本学には在学生の10%を超える留学生(約200名)が在籍しており、国際社会理解には、恵まれた環境にある。

国際交流センターでは、学内関係者の積極的な国際交流を行うことを目的として、今年度から「国際交流デー」を実施することになり、第1回を7月2日(金)にスチューデントコモンズIで「世界のお茶会」と題して実施した。



ミャンマーのラペット茶、タイのゲックファイ茶、インドのアドラックチャイなど15カ国・地域の留学生がそれぞれ用意した母国紹介のポスターを前に各国のお茶を飲みながら、学内関係者相互の異文化交流が広がった。

今年度は、その他下記のテーマでも実施した。今後も年3回程度テーマを変えて実施する予定。

#### ○第2回

「世界の運動会」と題して、世界のいろいろな運動会種目を楽しみながらの異文化体験。

日時：平成22年10月23日(土)

場所：技科大グラウンド

#### ○第3回

本学卒業生の不要になった生活品で、まだ使うことのできるものを学内でリサイクル品として活用する「リサイクル活動」を実施。

日時：平成23年3月22日(火)

場所：国際交流会館

#### (2) センター主催行事

NO.	行事名	内容	開催日	参加者数
1	4月期外国人留学生・留学生チューターガイダンス及び懇親会	新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会	4月5日	130
2	第1回国際交流デー(世界のお茶会)	日本人と留学生がさまざまな体験を通して、お互いを理解し合う。	7月2日	200
3	オープンキャンパスイベント	地域の方々や入学希望の学生に留学生の母国の紹介	8月29日	50
4	外国人留学生見学旅行(夏)	旭硝子(株)愛知工場、INAXライブミュージアム、ミツカン酢の里、トヨタ産業技術記念会館、徳川美術館	9月9・10日	26
5	10月期外国人留学生・留学生チューターガイダンス及び懇親会	年度途中の新入学外国人留学生のためのオリエンテーション及び懇親会	10月4日	150
6	第2回国際交流デー(世界の運動会)	日本人と留学生が世界のいろいろな運動会種目を通して、お互いを理解し合う。	10月23日	80
7	安全講習会	自転車事故防止	11月18日	53
8	留学生意見交換会及び留学生懇談会	留学生支援団体等と意見交換会及び懇談会	3月4日	150
9	外国人留学生見学旅行(春)	京都国際マンガミュージアム、二条城、嵐山周辺散策、金閣寺、龍安寺、京都伝統文化体験、甲賀市信楽伝統産業会館、甲賀流忍者屋敷	3月8・9日	56
10	第3回国際交流デー(リサイクル活動)	リサイクル活動の実施	3月22日・4月6日	60
合計				955

#### (3) 地域交流

##### ① 豊橋市国際理解教育 講師派遣

NO.	行事名	派遣先/ 学校名(豊橋市立)	内容	開催日	参加者数
1	外国人による国際理解教育	幸小学校	母国の紹介(気候・文化・暮らし・学校・遊び)	10月13日	1
2		松葉小学校	母国の紹介、ゲーム、歌	10月29日	1
3		二川小学校	母国の紹介(国の様子・文化)、交流	12月17日	1
4		多米小学校	料理体験(お国の料理・五平餅づくり)	1月28日	1
5		八町小学校	自己紹介と母国紹介(日本の印象、母国文化)	2月14日	1
合計					5

## ②語学講師等派遣

NO.	行事名	派遣先	内 容	開催日	参加者数
1	豊橋市外国人市民会議委員	豊橋市文化市民部	多文化共生社会実現に向けての市民会議に参画	平成22年度	1
2	英語活動ボランティア	蒲郡市立西浦中学校	中学生と英語でコミュニケーション	5月21日	10
3	豊橋市観光座談会	豊橋市商業観光課	留学生から見た、豊橋の印象、魅力、観光のあり方について意見交換	8月16日	6
4	中学生との交流（文化祭参加）	豊川市立南部中学校	中学校の文化祭に参加し交流	9月15日	8
5	小学生とのコミュニケーション	高師小学校	小学生と英語でコミュニケーション	11月10日・24日	3
6	SSH（スーパーサイエンスハイスクール）英語村講師	愛知県立時習館高校	高校生と英語で会話	2月11日	10
合 計					37

## ③まつり等

NO.	行事名	主催団体	内 容	開催日	参加者数
1	日中友好協会例会	豊橋ちぎりライオンズクラブ	例会に参加し親睦交流を図る	5月13日	6
2	祇園祭鑑賞会	豊橋市国際交流協会	花火鑑賞	7月18日	32
3	中国留学生と日中友好協会会員とギョーザを作る会	豊橋地区日本中国友好協会	餃子作り、懇親会・試食会、ゲーム	10月3日	10
4	豊橋まつり市民おどり	豊橋市国際交流協会	市民総おどり参加	10月16日	21
5	とよはしインターナショナルフェスティバル2010	豊橋市国際交流協会	日本語スピーチコンテスト参加	10月31日	1
6	家族年末例会	豊橋ライオンズクラブ	家族例会に参加し交流親睦を図る	12月16日	1
7	バングラデシュ留学生と新城市民の交流	新城市国際交流協会国際交流さくら	国際理解ならびに国際交流を推進	2月20日	7
合 計					72

## ④ホーム・ビジット等

NO.	行事名	主催団体	内 容	開催日	参加者数
1	ヒッポファミリークラブホームステイ	ヒッポファミリークラブ	ホームステイ	5月15日-16日	7
				11月20日-21日	3
2	ホーム・ビジット2010	豊川市国際交流協会	五平餅づくり・試食会、一般家庭の体験	9月12日	5
3	日帰りバスツアー	愛知留学生後援会	水引工房見学・リンゴ狩り	10月30日	3
合 計					18

## ⑤施設見学等

NO.	行事名	主催団体	内 容	開催日	参加者数
1	留学生工場見学会	豊橋ライオンズクラブ	トヨタ本社工場等見学、トヨタ博物館	11月25日	15
2	企業見学会	国際交流クラブ	ヤマハ発動機、大塚製薬	3月30日	36
合 計					51

## (4) マレーシア同窓会

本学の国際化活動の一環として、海外の本学留学生同窓会を積極的に支援している。例えば、海外同窓会の広報活動や情報発信機能の強化や、本学を卒業または修了した留学生が本学に求める情報の調査などを行ってきた。

昨年6月には、国際交流センターから浜島センター長とリム特任准教授がマレーシアを訪問し、マレーシア・シャアラムで同国に在住する本学卒業生の集いを開催して、様々な情報の収集や意見交換を行なった。その中では、TUTマレーシア同窓会を作り、1・2年に一度、マレーシア



で同窓会を定期的に開催する提案や、マレーシア留学生の情報交換や連携には、Facebookを有効に活用するなどの提案があった。マレーシアには現在、約150名のTUT卒業生が在住していることから、マレーシア同窓会を早期に立ち上げ活発化させることで、本学国際化に大いに資するものといえる。

## 4. 国外各機関への訪問および留学フェアへの参加

平成22年度は韓国、インドネシア、ベトナム、マレーシアの四カ国において各種機関を訪問した他、留学フェアへの参加、本学紹介イベントを行った。

訪問地	日時	内容	本学からの出席者
マレーシア プトラジャヤ シャーアラム クアラルンプール	6月25日 26日	公共サービス局訪問 日本高専予備教育センター訪問 マラヤ大学予備教育訪問	浜島昭二 リム パンボイ
韓国 ソウル	8月29日	日韓共同理工系学部留学生プログラム事業推進フェアへの参加	岡田浩 ベク スンミン
インドネシア ジャカルタ スラバヤ バンドン	10月2日 ～4日	日本留学フェアへの参加 バンドン工科大学訪問	桂田浩一 山口昌志
ベトナム ハノイ ホーチミン	11月20日 ～21日	日本留学フェアへの参加	角田範義 大門裕之 竹村圭子
マレーシア パナン クアラルンプール シャーアラム	2月15日 ～19日	マレーシア科学大学訪問 マラ教育財団訪問 UNISEL 訪問 アジア科学教育経済発展機構担当者との会談 JICA マレーシア事務所訪問	浜島昭二 木内行雄 リム パンボイ

マレーシアへは6月に浜島センター長とリム特任准教授が、2月に浜島センター長、木内教授、リム特任准教授が各種機関を訪問し、マレーシアの現状および当該機関の今後についての情報を収集した。韓国へは岡田准教授が渡航し、日韓共同理工系学部留学生プログラム事業推進フェアにおいて本学の紹介を行った。インドネシアおよびベトナムでは日本学生支援機構（JASSO）が主催する日本留学フェアにそれぞれ参加した他、インドネシアではバンドン工科大学を訪問し、本学の紹介を行った。



留学フェア（インドネシア・ジャカルタ）

なお、各国留学生が自主制作したビデオレターをマラヤ大学日本語予備教育訪問、インドネシアとベトナムの留学フェア、バンドン工科大学訪問の際に上映した。初めての試みであったが、マレーシア、インドネシア、ベトナムの全ての国で非常に好評であった。本学在学生の生の声を伝えられるという点でアピール効果が高いことから、来年度以降も可能であれば実施するのが効果的であると思われる。

## Ⅱ 資料

### 1. 在学留学生状況

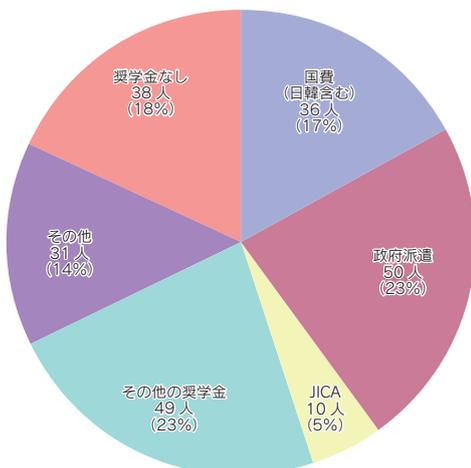
#### (1) 外国人留学生受入状況

区 分	在籍身分状況											合 計					
	学部			正規生 修士			博士			非正規生 研究生等			国費	私費		合計	
	国費	政府	私費	国費	政府	私費	国費	政府	私費	国費	政府	私費					
◆アジア◆																	
1 インド			1													1	1
2 インドネシア				5		1	3			10		2	8		13	21	20
3 ベトナム			8							3					19	8	1
4 カンボジア					4	1								4	4	3	3
5 スリランカ				1													
6 タイ				2													
7 大韓民国							6			2						5	12
8 台湾												1					3
9 中華人民共和国				1			1			8		2			4	3	43
10 ネパール			3			24				2		6					43
11 バングラデシュ				5		2		1		2					2		10
12 フィリピン									6								1
13 マレーシア		34			9	2			1			1		49	3		52
14 ミャンマー				3													3
15 モンゴル			2			3										5	5
16 ラオス	3		3			2				1		2	3		6		9
◆中南米◆																	
17 コロンビア	1												1				1
18 ブラジル			1							1						2	2
◆ヨーロッパ◆																	
19 ウズベキスタン					1							1		1			1
20 ドイツ																1	1
◆中東◆																	
21 シリア						1										1	1
◆アフリカ◆																	
22 エジプト						1	1			1			1		2		3
23 ガーナ				1													1
24 モロッコ			1														1
25 ジンバブエ										1							1
26 ルワンダ						1											1
27 セネガル						1											1
小 計	6	34	20	19	14	52	13	6	30			14	14	38	54	116	208
合 計		60		85			49							208			

#### (2) 外国人留学生宿舍状況

区 分	宿舍状況												合計				
	大学宿舍						大学宿舍以外										
	国際交流会館			学生宿舍			公営住宅			民間アパート				社員寮			
国費	政府	私費	国費	政府	私費	国費	政府	私費	国費	政府	私費	国費	政府	私費			
◆アジア◆																	
1 インド						1											1
2 インドネシア	4		3					2	3			7					21
3 ベトナム	1		2														20
4 カンボジア		1				3										1	8
5 スリランカ																	1
6 タイ				1													3
7 大韓民国							2	1	5			3					12
8 台湾																	3
9 中華人民共和国	1		1			11						29					43
10 ネパール																	2
11 バングラデシュ	2					1	2		2			1					10
12 フィリピン																	1
13 マレーシア		2			4	1		3	2			40					52
14 ミャンマー	3																3
15 モンゴル			1			2											5
16 ラオス					2	5											9
◆中南米◆																	
17 コロンビア												1					1
18 ブラジル															2		2
◆ヨーロッパ◆																	
19 ウズベキスタン					1									1			1
20 ドイツ																	1
◆中東◆																	
21 シリア																	1
◆アフリカ◆																	
22 エジプト							1		1								3
23 ガーナ																	1
24 モロッコ						1				1							1
25 ジンバブエ																	1
26 ルワンダ																	1
27 セネガル																	1
小 計	11	3	13	4	4	33	6	3	9	17	44	60				1	208
合 計		27		41			18				121			1			

#### (3) 平成 22 年度奨学金受給状況 (H23.3.1 現在)



#### ■その他の奨学金の内訳

学習奨励費	15
ロータリー米山	5
NGK留学生基金	4
名鉄国際育英会	4
オーエスジー留学生奨学金	2
ヒロセ国際奨学財団	2
愛知留学生	2
サトー国際奨学財団	2
日揮・実吉奨学金	2
天野工業技術研究所	1
平和中島財団外国人留学生奨学金	1
にっとくアジア奨学基金	1
神野教育財団(一時金)	1
KDDI国際コミュニケーション奨学金	1
イノアック奨学金	1
ドコモ留学生奨学金	1
マブチ国際育英財団奨学金	1
佐川	1
服部国際奨学財団	1
久保田豊基金	1
合 計	49人

## 2. 国際交流センターについて

### (1) CALL 教室および自習室利用状況について

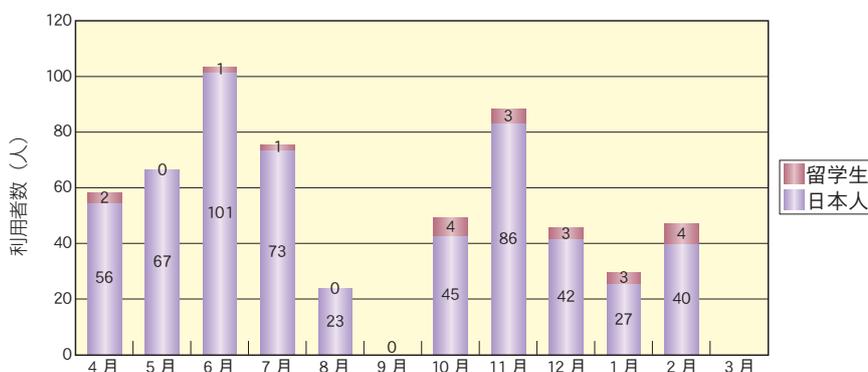
CALL教室の授業外開放（4月～6月、9月～2月の平日の午前9時から午後7時まで）

#### ■ CALLラボ教室 利用者数（自習及び一部授業での利用含む）

利用月	利用者数（人）			利用者数（人）		
	日本人	留学生		日本人	留学生	
4月	56	2	4月～3月	560	21	581
5月	67	0	月平均	51	2	53
6月	101	1	1日平均	2.5	0.1	3
7月	73	1				
8月	23	0				
9月	0	0	※出入管理システムの入退室記録を基 に算出した。			
10月	45	4				
11月	86	3	※9、3月は閉室。 8月は8/1～9月まで閉室。			
12月	42	3				
1月	27	3				
2月	40	4				
3月						

22年度は昨年度に比べ、授業での利用が増加し、自習での利用時間が減少したためか利用学生も減少した。毎年、履修ガイダンスやオリエンテーションで利用についての説明や紹介を行っているが、自習用として利用できることを知らない学生も未だに多い。より多くの学生に利用を呼びかけていきたい。

#### ■ CALLラボ教室 利用者数



#### 3年間の利用者数

20年度	1297名
21年度	912名
22年度	581名

#### ■ CALLラボ教室 授業での利用状況

##### 前期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 I Ab	レヴィン	1	31	465	15
英語 II 1c	印南	1	28	420	15
英語 IV 1b	印南	1	18	270	15
英語 V ae	印南	1	51	765	15
英語 I Ac	田村	1	22	330	15
英語基礎 II j	山本	1	15	225	15
言語と文化 II	印南	1	52	780	15
英語 IV 2a	秋元	1	28	420	15
英語 VBg	秋元	1	48	720	15
合計		9	293	4395	135

22年度は平成6年度にCALLシステムを設置後、一度も更新を行わなかった教師用、および学生用中間モニターの更新を行った。デジタル化され、使い勝手も良いということで、普通教室からCALL教室へ移動した授業もあった。

##### 後期

科目	教員名	コマ数	学生数	延べ人数	授業回数
英語 II Ab	レヴィン	1	35	525	15
英語 II 3c	印南	1	22	330	15
言語と文化 IV	印南	1	11	165	15
英語 VI ae	印南	1	39	585	15
英語 II Ac	田村	1	27	405	15
英語 II Ba	山本	1	37	555	15
日本の文化 II	村松	1	3	45	15
日本の社会 II	村松	1	5	75	15
英語 VI Bg	秋元	1	22	330	15
合計		9	201	3015	135



総延べ人数	総実数
7410	494

自習室の利用時間（平日の午前9時から午後10時まで）

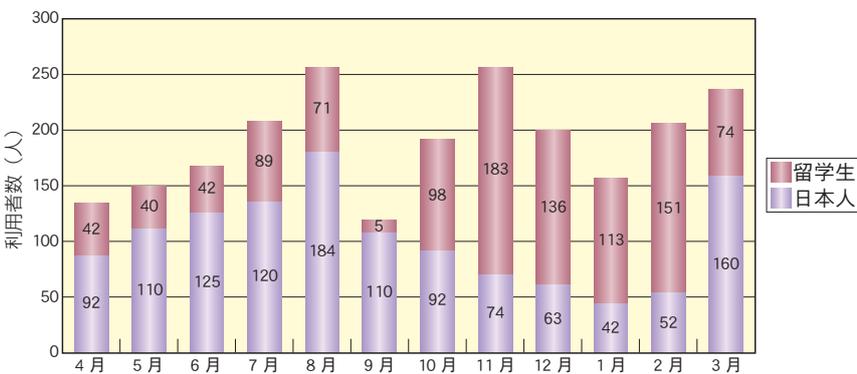
■自習室 利用者数

利用月	利用者数（人）		利用者数（人）				
	日本人	留学生	日本人	留学生			
4月	92	42	年間合計	1,224	1,044	2,268	
5月	110	40		月平均	102		87
6月	125	42		1日平均	5.1		4.4
7月	120	89					
8月	184	71					
9月	110	5					
10月	92	98					
11月	74	183					
12月	63	136					
1月	42	113					
2月	52	151					
3月	160	74					

※出入管理システムの入退室記録を基に算出した。

今年度は老朽化していたパソコン9台を新たに更新し、Officeも最新の2010版を導入した。パソコンが新しくなったこと、図書館よりも静かに学習ができるということで、昨年度よりも利用者が増加した。

■自習室 利用者数



3年間の利用者数  
 20年度 4444名  
 21年度 1886名  
 22年度 2268名

(2) 平成22年度に導入した主な機器及び教材

※教材は全て自習室に配架してあります。

<機器>

202 (CALL) 教室

- 液晶ディスプレイ 28台

自習室

- パーソナルコンピュータ 9台

<教材>

オンライン教材

- NetAcademy2 英文法コース

DVD

- 英語（映画）  
 「愛を読むひと」「アメリカを売った男」  
 「インビクタス 負けざる者たち」「ボルト」  
 「オーケストラ!」「カールじいさんの空飛ぶ家」  
 「シャーロック・ホームズ」「幸せの隠れ場所」  
 「最高の人生の見つけ方」「フロズン・リバー」  
 「レスラー」「私の中のあなた」他6点

●日本語（映画）

- 「歩いても 歩いても」「おくりびと」  
 「ぐるりのこと。」「沈まぬ太陽」

テキスト

- 英語教材  
 TOEIC テスト標的リーディング  
 新 TOEIC テスト文法語彙出るところだけ！問題集

- 日本語教材  
 日本語能力試験直前対策 N1 文字・語彙・文法  
 日本語能力試験 N1 に出る重要単語集  
 日本語能力試験対策 日本語パワードリル N1～N3 文字・語彙  
 日本語能力試験問題集 N3 読解スピードマスター  
 「日本語能力試験対策」にほんごチャレンジ N4 ことば 他2点
- CD-ROM  
 ●英語教材  
 理系英語のライティング
- CD  
 ●英語教材  
 3週間で攻略 新 TOEIC テスト 470 点！  
 新 TOEIC テスト 600 点突破 全パート問題集  
 新 TOEIC テスト 470 点突破 全パート問題集  
 理系英語のライティング  
 理系英語のプレゼンテーション 他5点
- 日本語教材  
 平成 21 年度第 2 回日本語能力試験 試験問題と正解 1,2 級  
 平成 21 年度第 2 回日本語能力試験 試験問題と正解 3,4 級  
 日本語能力試験問題集 N3 語彙スピードマスター  
 日本語能力試験問題集 N3 聴解スピードマスター  
 短期マスター日本語能力試験ドリル N1～N5  
 「日本語能力試験対策」にほんごチャレンジ N45 かんじ  
 BJT ビジネス日本語能力テスト 公式ガイド  
 BJT ビジネス日本語能力テスト 体験テストと解説



オープンキャンパス



外国人留学生見学旅行（夏）



第2回国際交流デー（世界の運動会）



ポルトガル語講座



FD 研修会



春期 TOEIC 対策講座

### お知らせ

今年度、旧語学センターと旧留学生センターとが統合されて国際交流センターとなり、HP もリニューアルしました。学生生活において必要な情報が満載です。ぜひ参考にして下さい。

### 平成 22 年度 国際交流センタースタッフ名簿

センター長	教 授	浜島昭二
センター	准 教 授	田村真奈美
センター	准 教 授	林 孝彦
センター	准 教 授	村松由起子
センター	特任准教授	リム パンボイ
センター	講 師	桂田浩一
センター	助 手	鈴木聖子
担 当 事 務	国際交流課交流支援係	

### 編集後記

**Annual Report** 第1号を発刊いたしました。2010年4月の学内再編により「語学センター」と「留学生センター」を統合して発足いたしました国際交流センターの活動を広く学内外にお知らせし、本学の国際交流関連活動に対する関係各位のご理解を深め、学内的には全学挙げての協力体制の整備・改善に貢献することを、学外に向けては関係諸機関、関係者の皆様との連携における基礎情報となることを目的としています。

この第1号は、新しいセンターの自画像を手探りで描きながらの作成でしたので、私たちにとっても決して満足できるものではありません。今後も改善に努め、さらに充実したものにしていきたいとセンター・スタッフ一同考えております。各方面からのご意見、ご批判をお寄せいただければありがたく、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、この **Annual Report** の発刊により『留学生センター年報』は2010年の活動内容を報告する第8号（2011年発行）をもって終刊といたしました。

また、本センターHPにも電子版（pdf）をカラーで掲載しておりますので、併せてご高覧いただければ幸いです。  
（編集責任：林 孝彦）



国立大学法人  
**豊橋技術科学大学 国際交流センター**  
Annual Report 第1号(平成22年度版) 平成23(2011)年12月28日発行

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1  
電話(0532) 44-6546 Fax(0532) 44-6557  
e-mail koushien@office.tut.ac.jp  
ホームページ <http://www.cir.tut.ac.jp/>